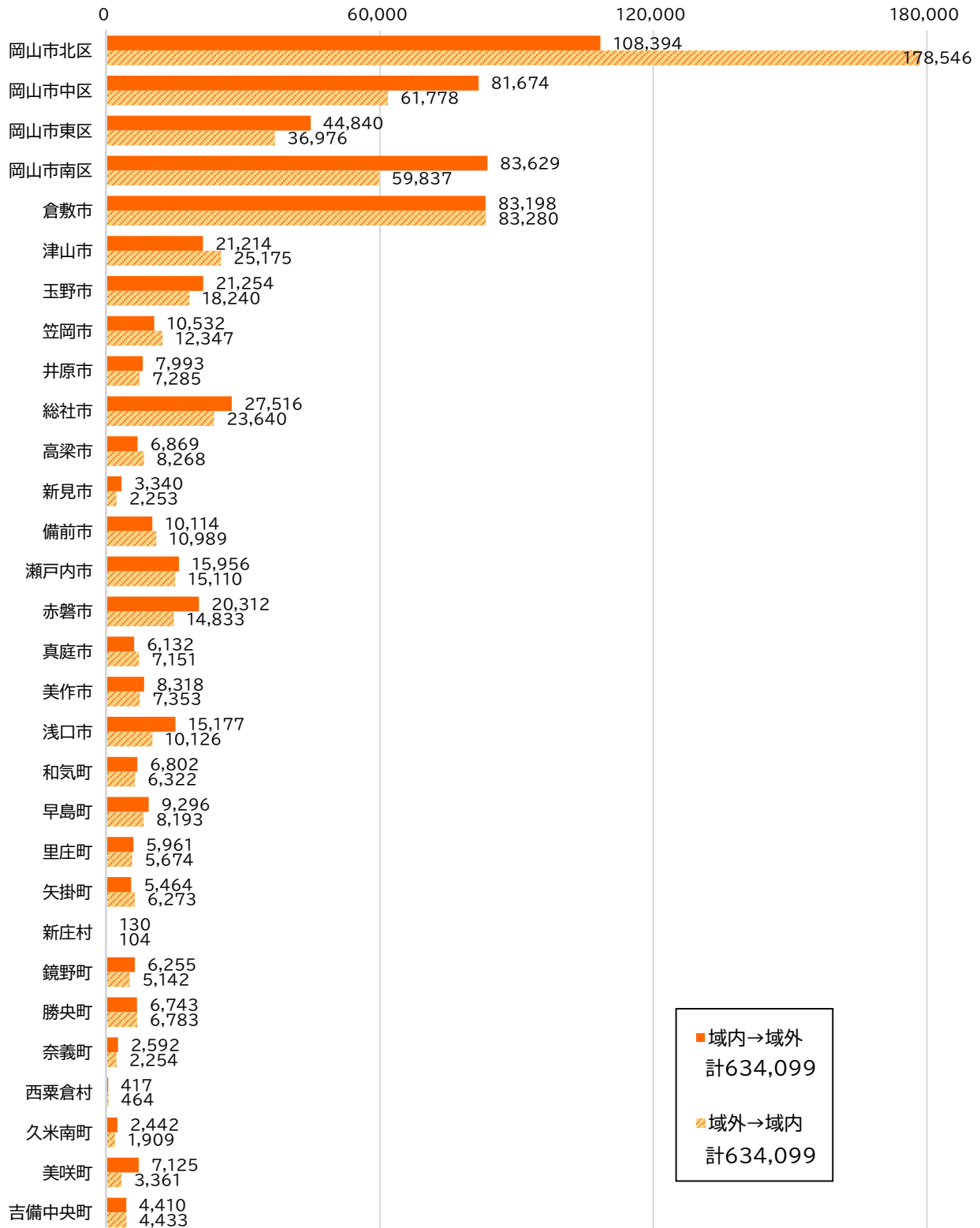


2.4 市区町村域をまたぐ移動の状況

2.4.1 市区町村別トリップ数

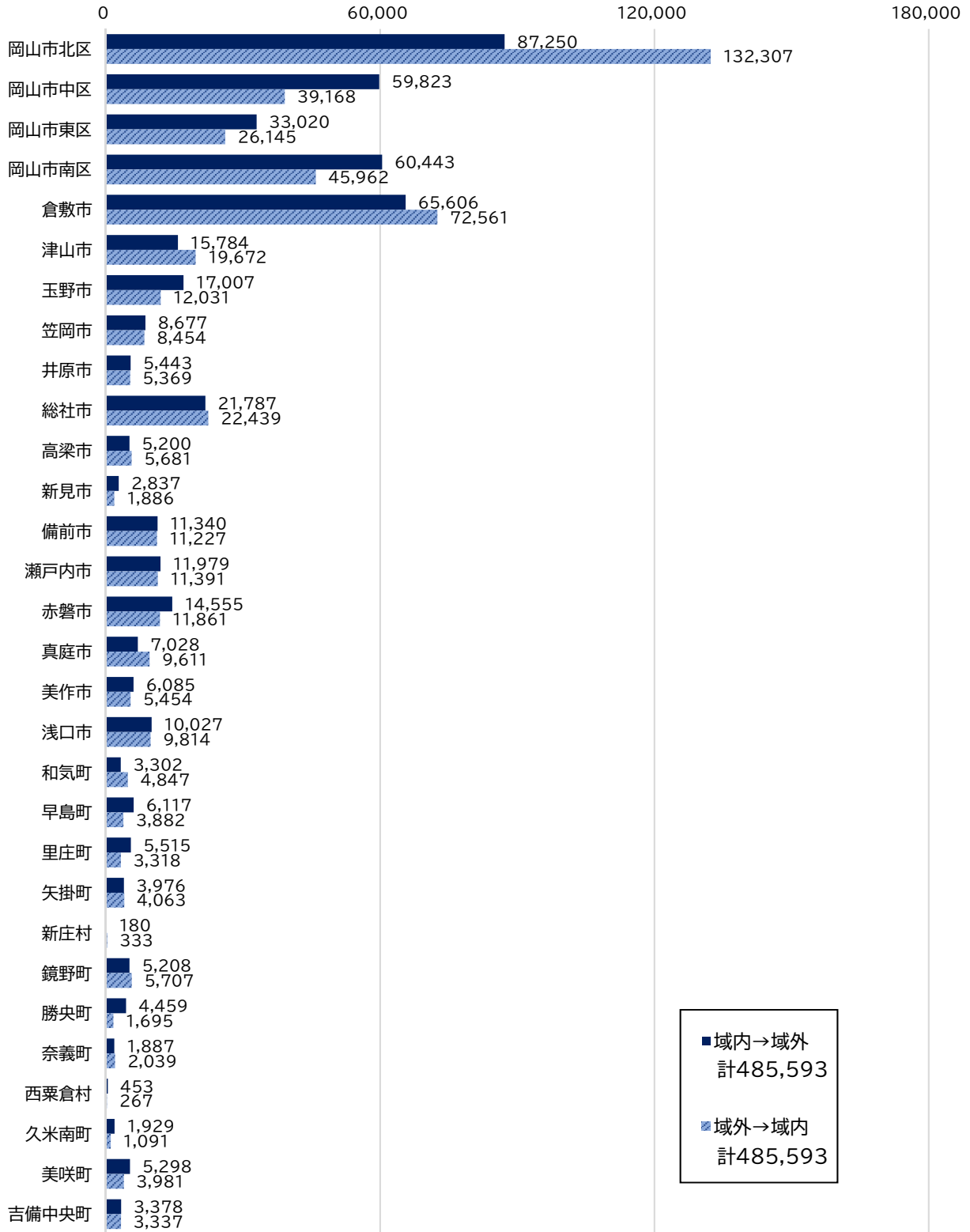
平日

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。
 ※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。



※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。
 ※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。

休日



■ 市区町村域内への流入量と、域外への流出量を比較すると、岡山市北区、倉敷市、津山市、高梁市、真庭市、矢掛町の6市区町では、平日・休日のいずれも「流入超過」の状態になっている。

2.4.2 市区町村ごとの区域をまたぐ移動の状況(平日)

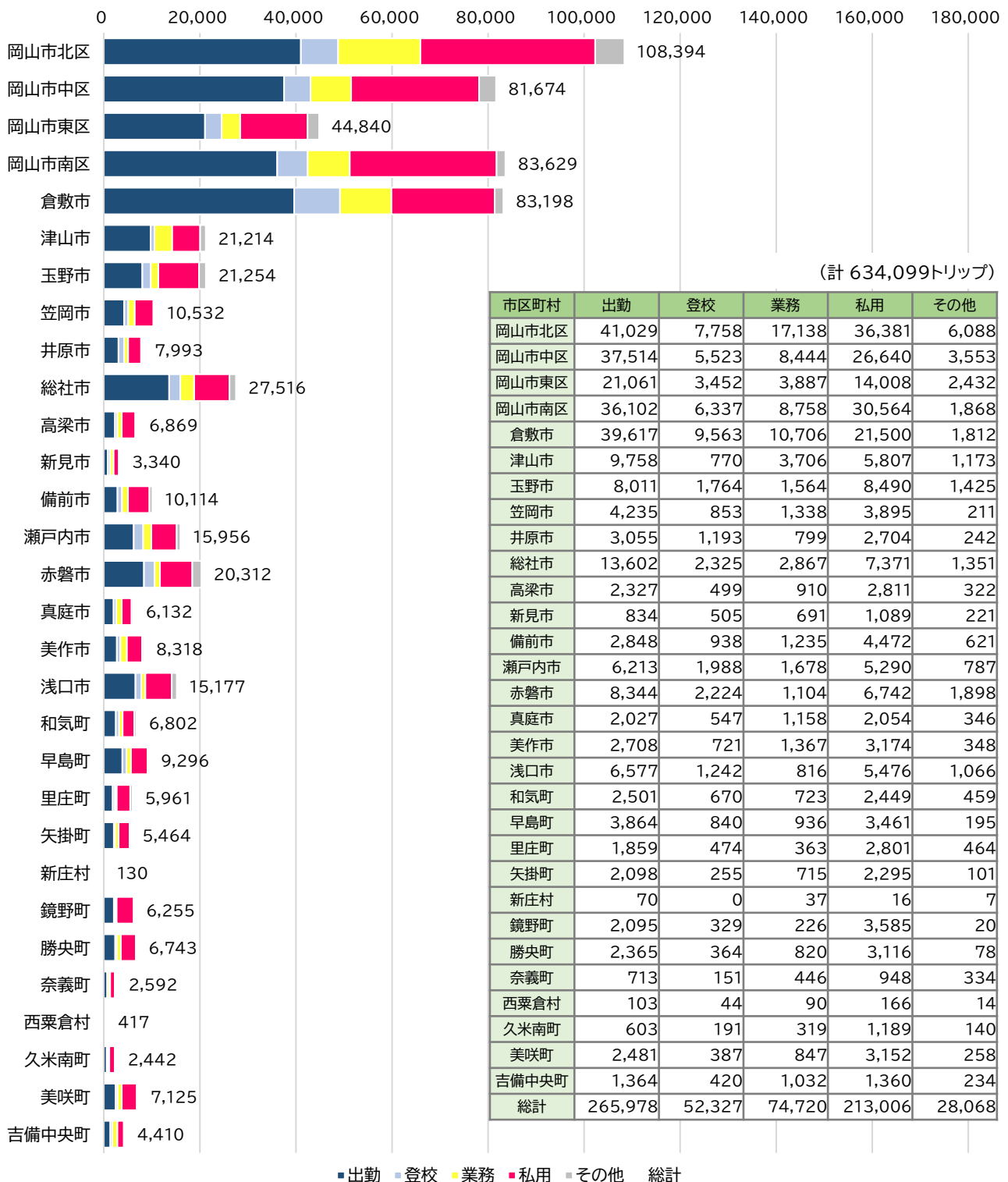
(1) 区域をまたぐ移動の目的

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。

※ 県域をまたぐトリップは除いた。

※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。

① 域内から域外への移動(流出)



(計 634,099トリップ)

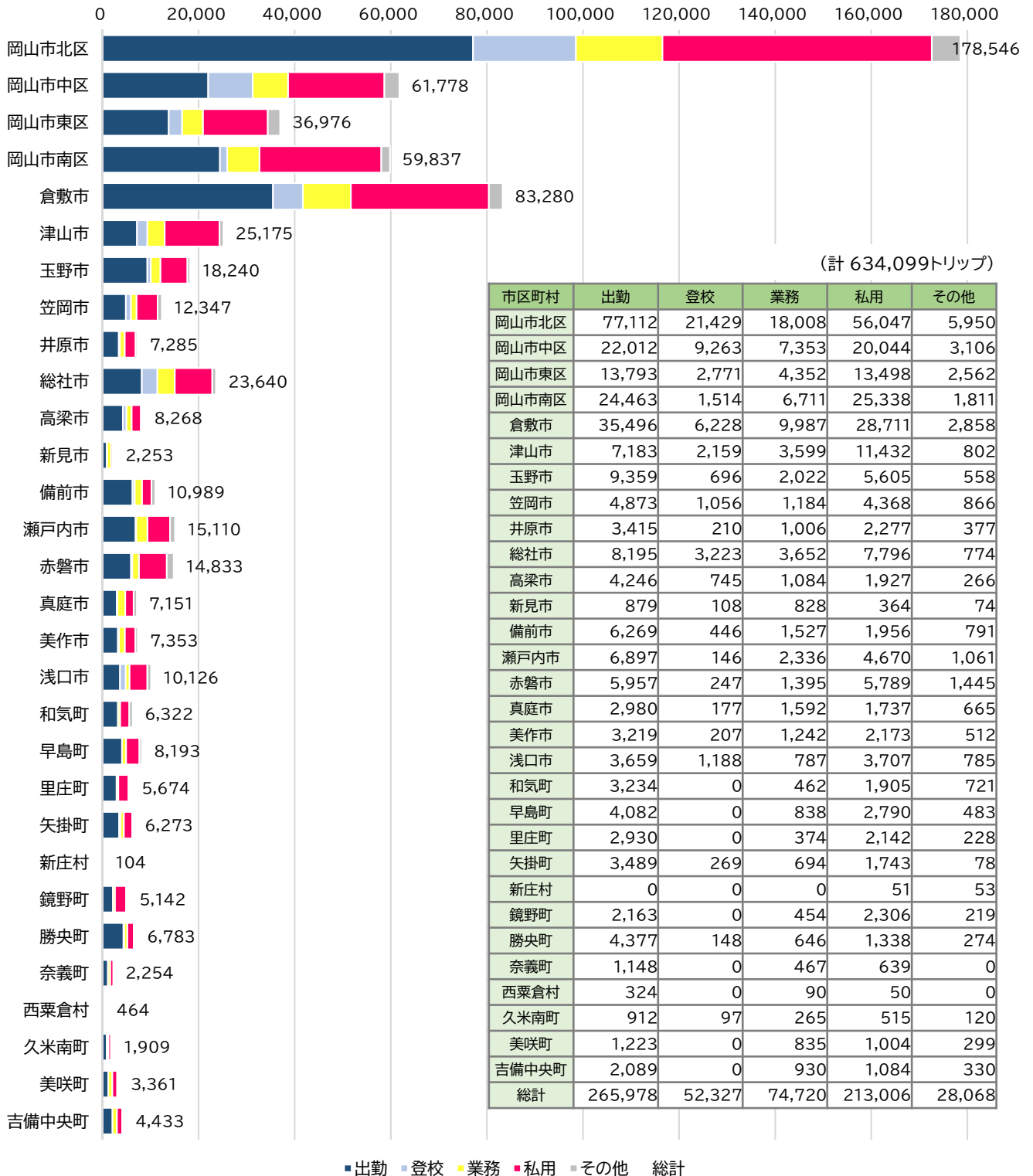
■ 県全体で見ると、平日に、市区町村域外へ出る目的として最も多いのは出勤(41.9%)、次いで私用(33.6%)となっている。

② 域外から域内への移動(流入)

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。

※ 県域をまたぐトリップは除いた。

※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。



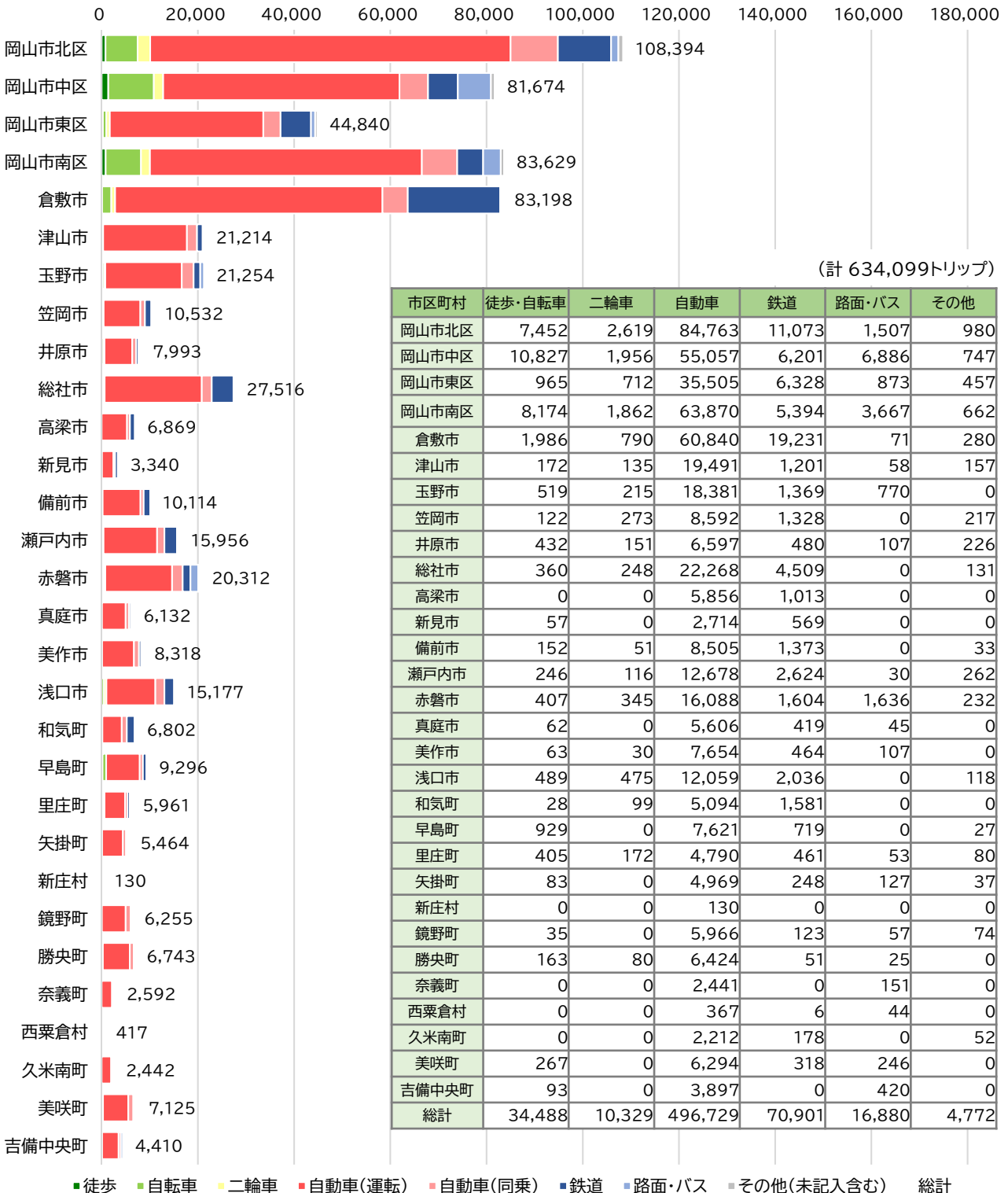
(計 634,099トリップ)

- 出勤のための移動の目的地は、多い順に、岡山市北区29.0%、倉敷市13.3%、岡山市南区9.2%となっている。
- 私用の移動の目的地は、多い順に、岡山市北区26.3%、倉敷市13.5%、岡山市南区11.9%となっている。
- 岡山市北区では、域外から入ってくる人が、域外へ出ていく人を大幅に上回っており、トリップ数を比較すると、出勤目的1.9倍、登校目的2.8倍、私用目的1.5倍となっている。

(2) 区域をまたぐ移動での代表交通手段

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。
 ※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。

① 域内から域外への移動(流出)



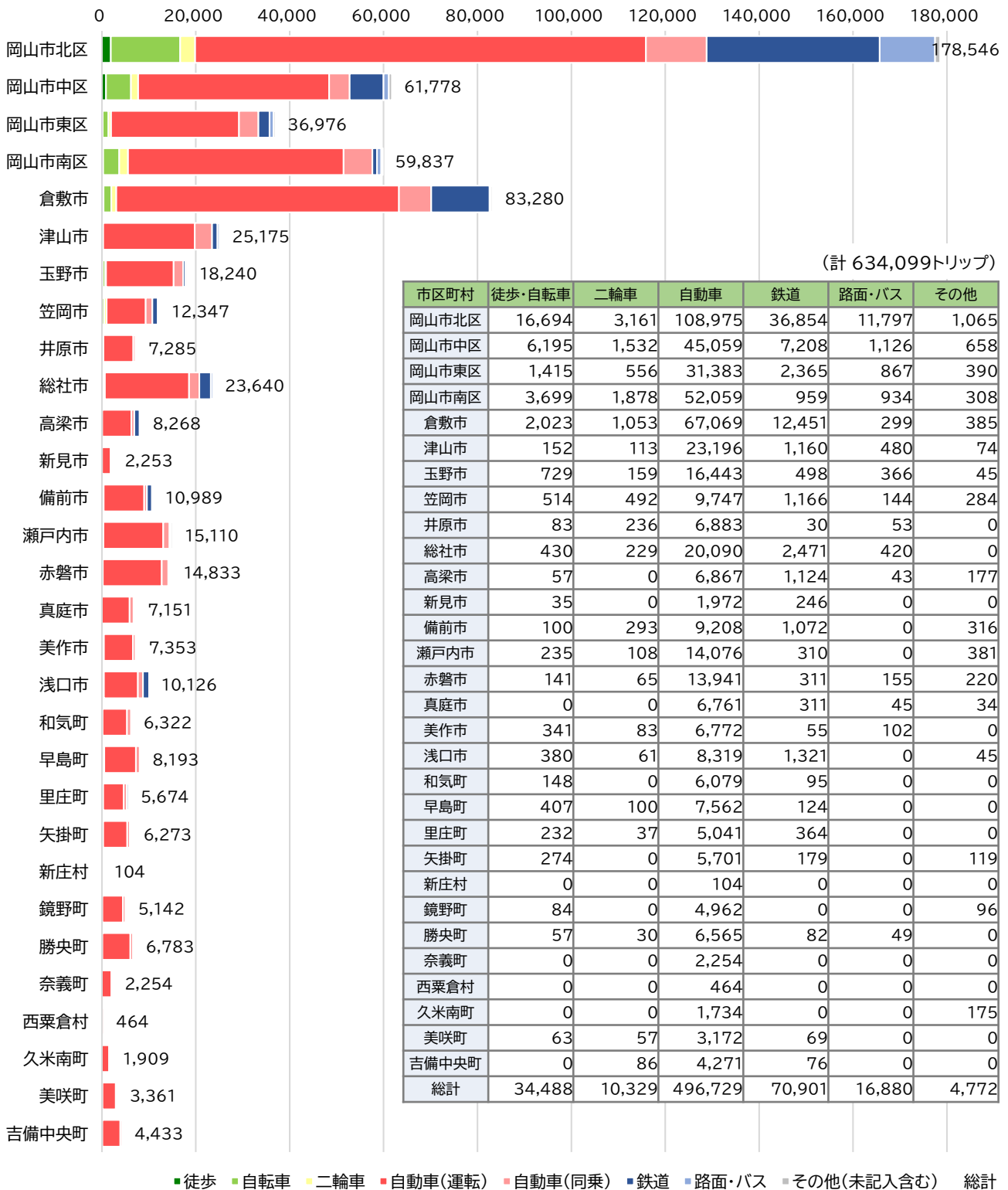
■ 市区町村域の外へ出る移動では、ほとんどの場合、自動車が利用されている。
 ■ 岡山市各区、倉敷市、総社市では、市区町村域外への交通手段として、鉄道も利用されている。また、岡山市中区及び南区から出る場合は、路線バスの利用も多い。

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。

※ 県域をまたぐトリップは除いた。

※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。

② 域外から域内への移動(流入)

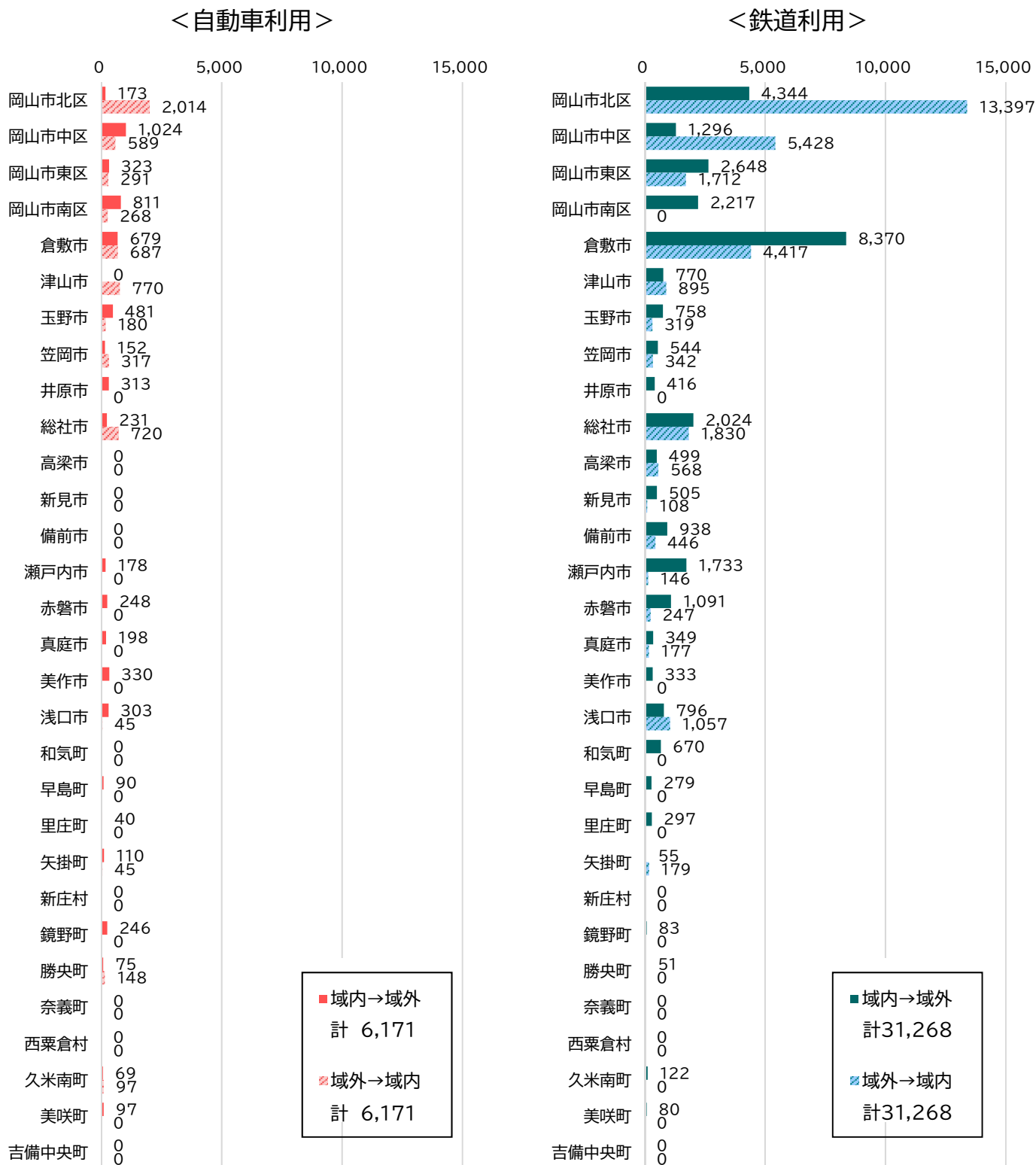


- 市区町村域外から入ってくる移動では、ほとんどの場合、自動車が利用されている。
- 鉄道を代表交通手段とするトリップのうち52.0%は、岡山市北区が目的地となっている。そのほか、鉄道による移動の目的地は、多い順に、倉敷市(17.6%)、岡山市中区(10.2%)となっている。
- 路面電車・バスを代表交通手段とするトリップのうち69.9%は、岡山市北区が目的地となっている。

(3) 移動目的ごとの自動車利用と鉄道利用の差

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地及び目的地別で集計を行った。
 ※ 自動車利用には、他の人の運転する車両への同乗を含めた。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。

① 登校目的での移動

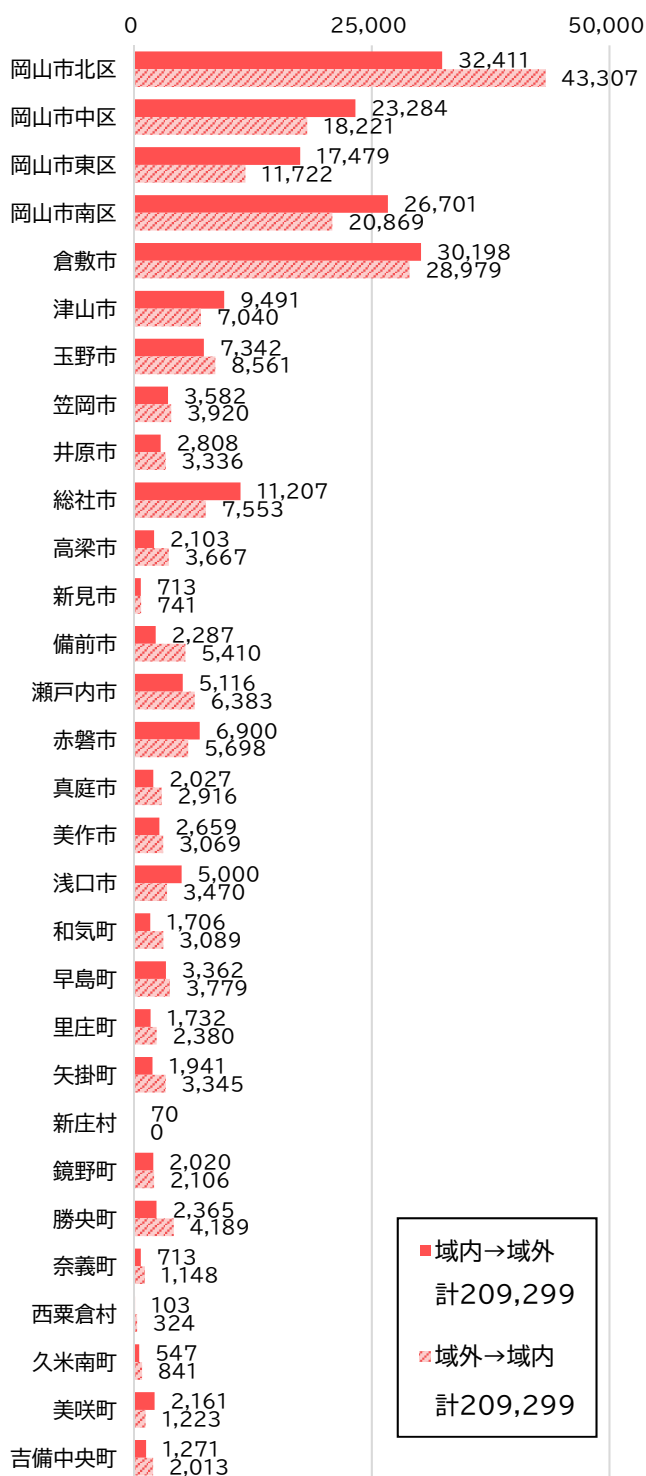


- 市区町村をまたぐ登校では、鉄道が多く利用されている。
- 岡山市各区、倉敷市、総社市、瀬戸内市、赤磐市などでは、鉄道で市域外の学校へ通う人が多い。
- 岡山市北区、中区、東区、倉敷市、総社市、浅口市などでは、鉄道で市域外から通ってくる人が多い。

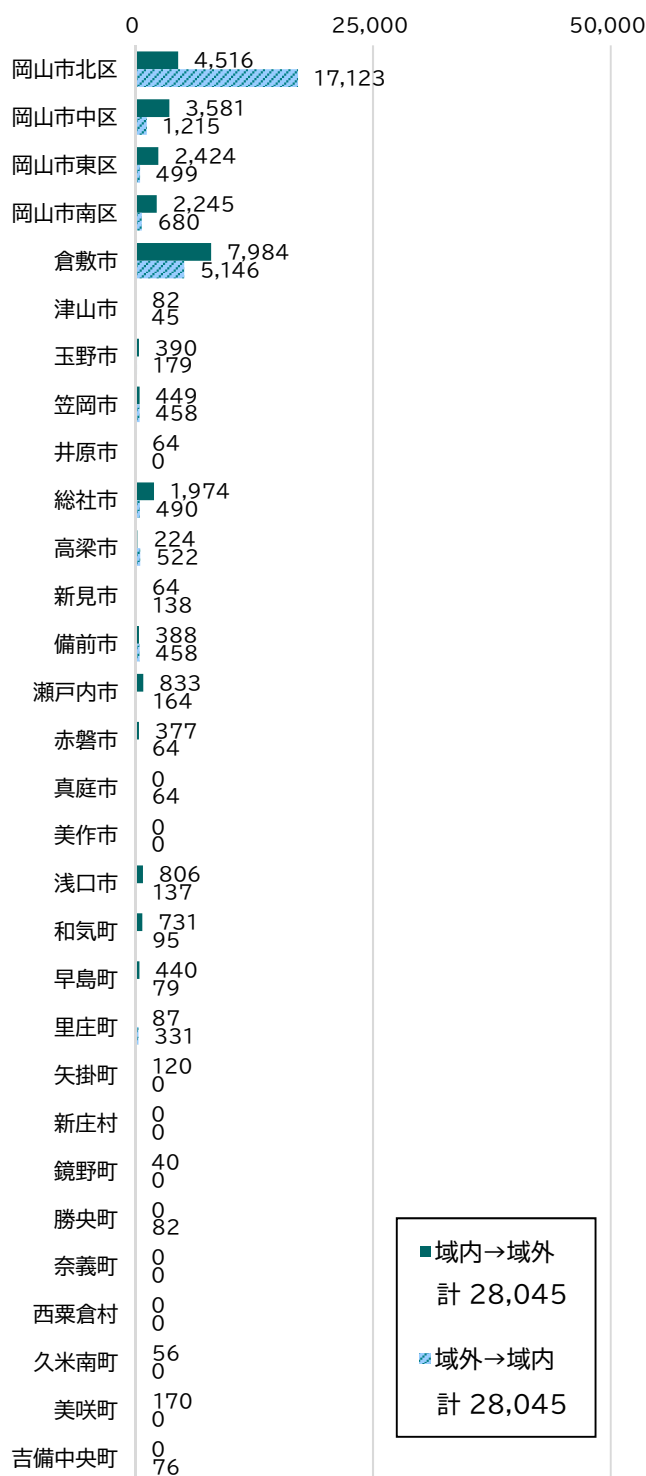
※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地及び目的地別で集計を行った。
 ※ 自動車利用には、他の人の運転する車両への同乗を含めた。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。

② 出勤目的での移動

<自動車利用>



<鉄道利用>

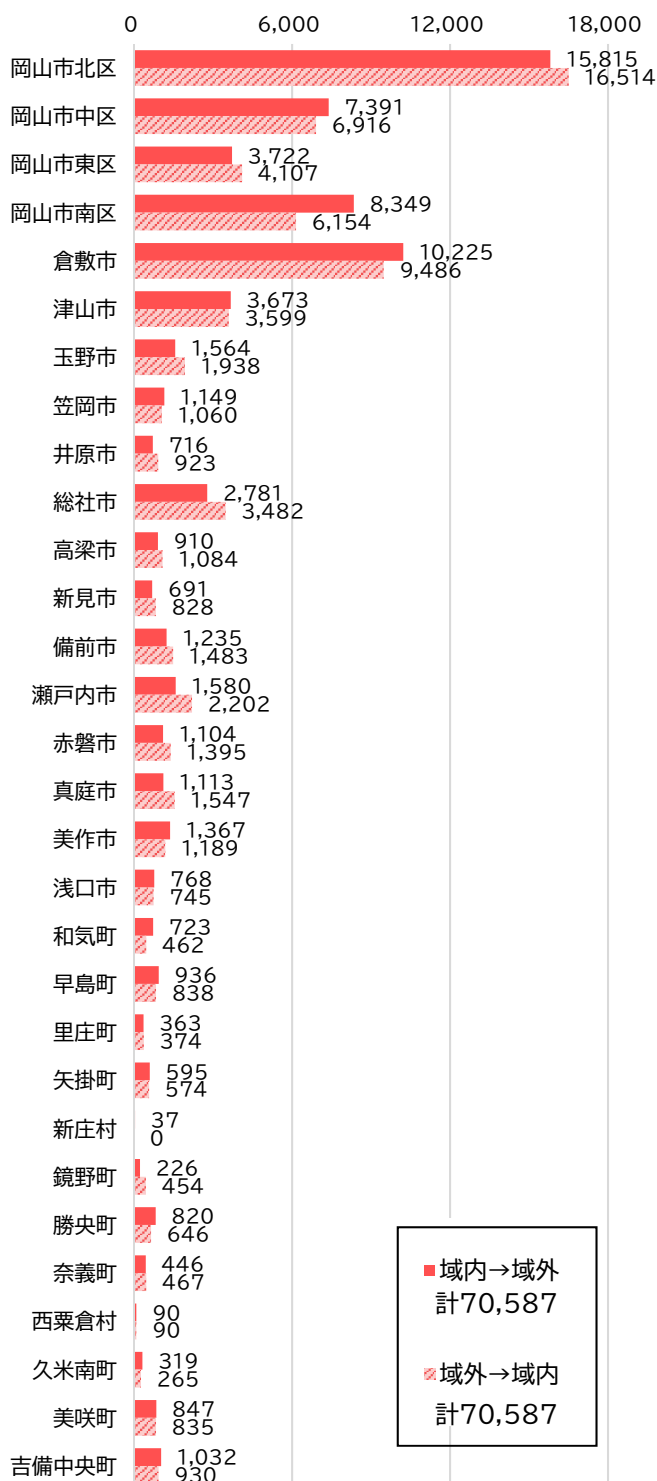


- 市区町村をまたぐ出勤では、鉄道よりも自動車が利用されている。
- 自動車利用の場合、ほぼすべての市区町村において、域外への移動と、域外からの移動が行われており、地域間移動が活発に行われていると言える。
- 一方、鉄道利用の場合、市町村域をまたいだ移動は限定的である。特に目的地については、岡山市北区や倉敷市などに偏りが見られる。

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地及び目的地別で集計を行った。
 ※ 自動車利用には、他の人の運転する車両への同乗を含めた。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。

③ 業務目的での移動

<自動車利用>



<鉄道利用>



- 自動車利用の場合、ほぼすべての市区町村において、域外への移動と、域外からの移動が行われており、地域間移動が活発に行われていると言える。
- 県内の市区町村間での、業務を目的とした移動においては、鉄道はほとんど利用されていない。

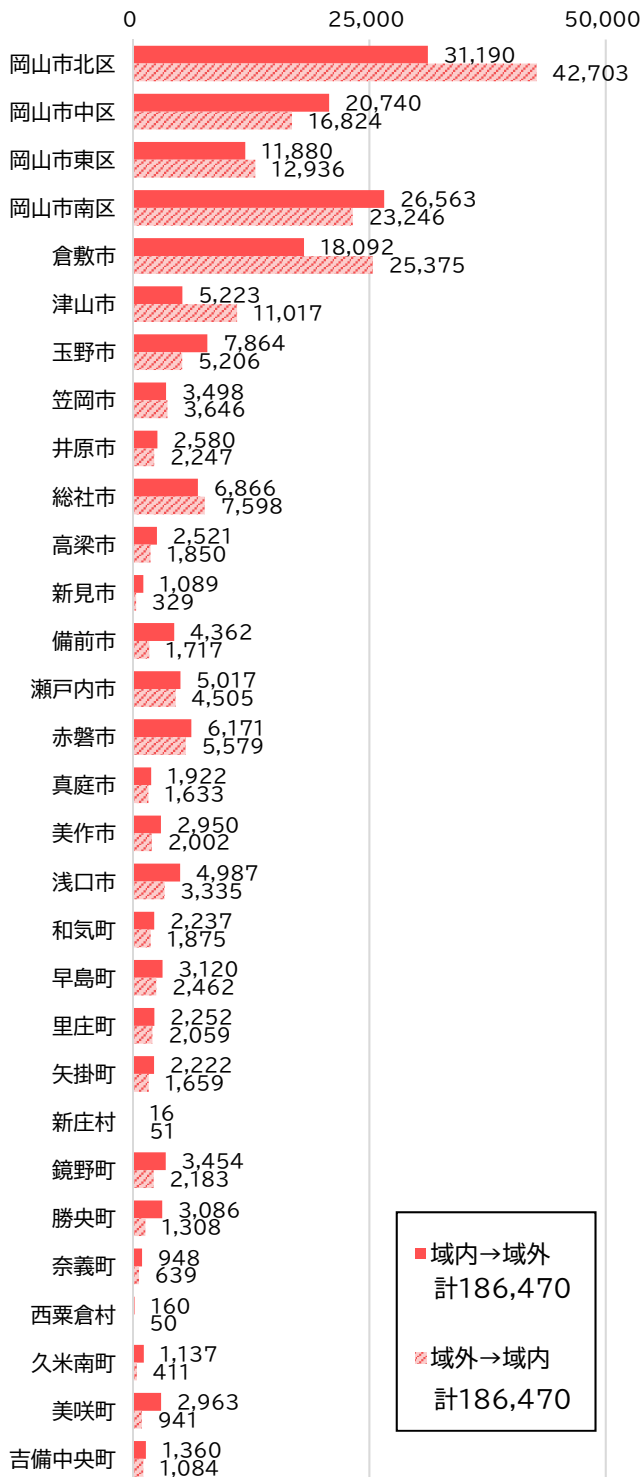
※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地及び目的地別で集計を行った。

※ 自動車利用には、他の人の運転する車両への同乗を含めた。

※ 県域をまたぐトリップは除いた。

④ 私用(買物、通院、私用、その他)での移動

<自動車利用>



<鉄道利用>



- 平日の、市区町村間での移動において、私用は、出勤の次に多い移動目的となっている。
- 出勤のための移動に比べ、私用のための移動での鉄道の利用割合は低い。
- 自動車利用の場合、岡山市各区や倉敷市に加え、津山市や総社市など、圏域内の中心的な市を目的地とした移動も多くなっている。

2.4.3 市区町村ごとの区域をまたぐ移動の状況(休日)

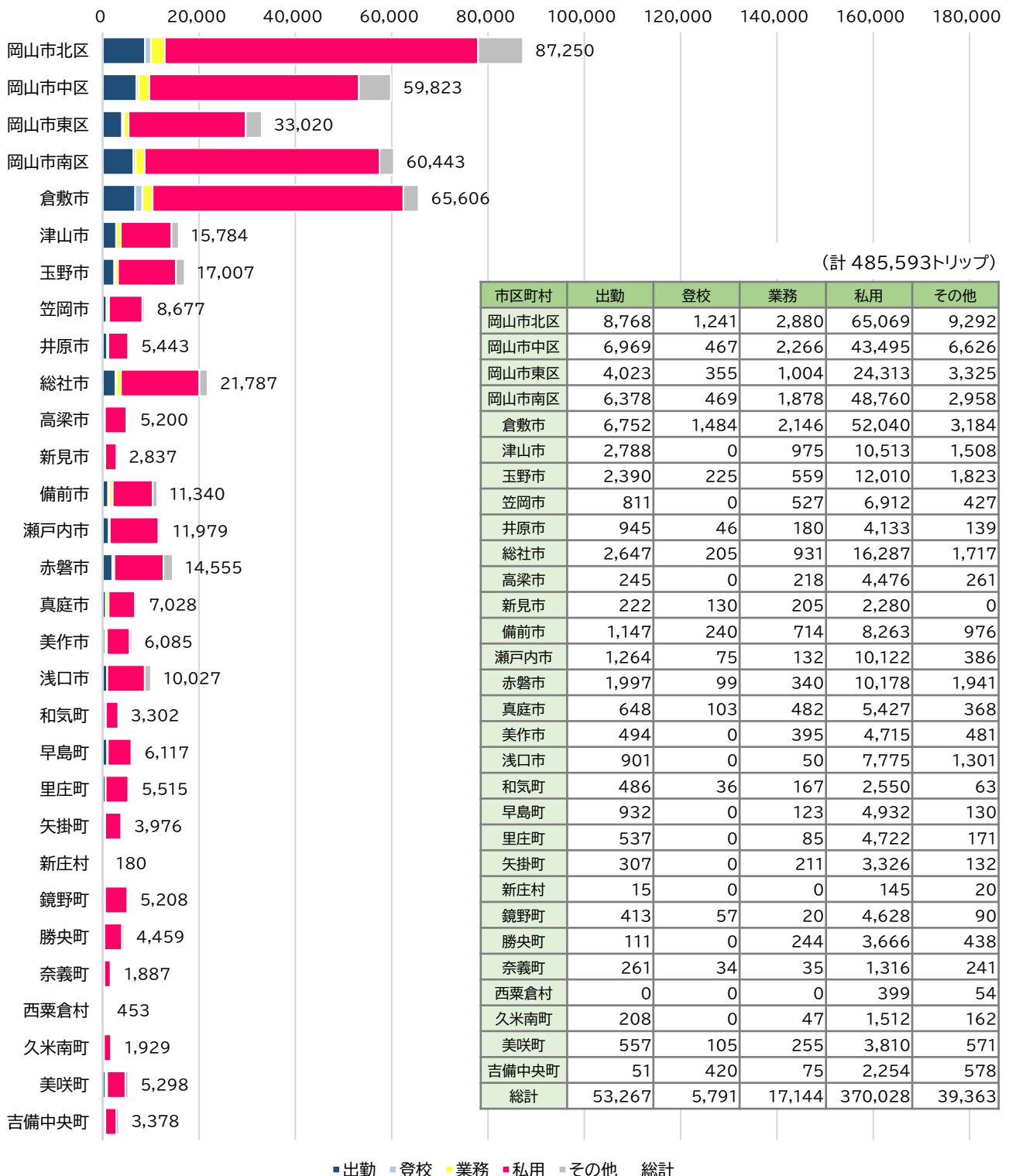
(1) 区域をまたぐ移動の目的

① 域内から域外への移動(流出)

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。

※ 県域をまたぐトリップは除いた。

※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。

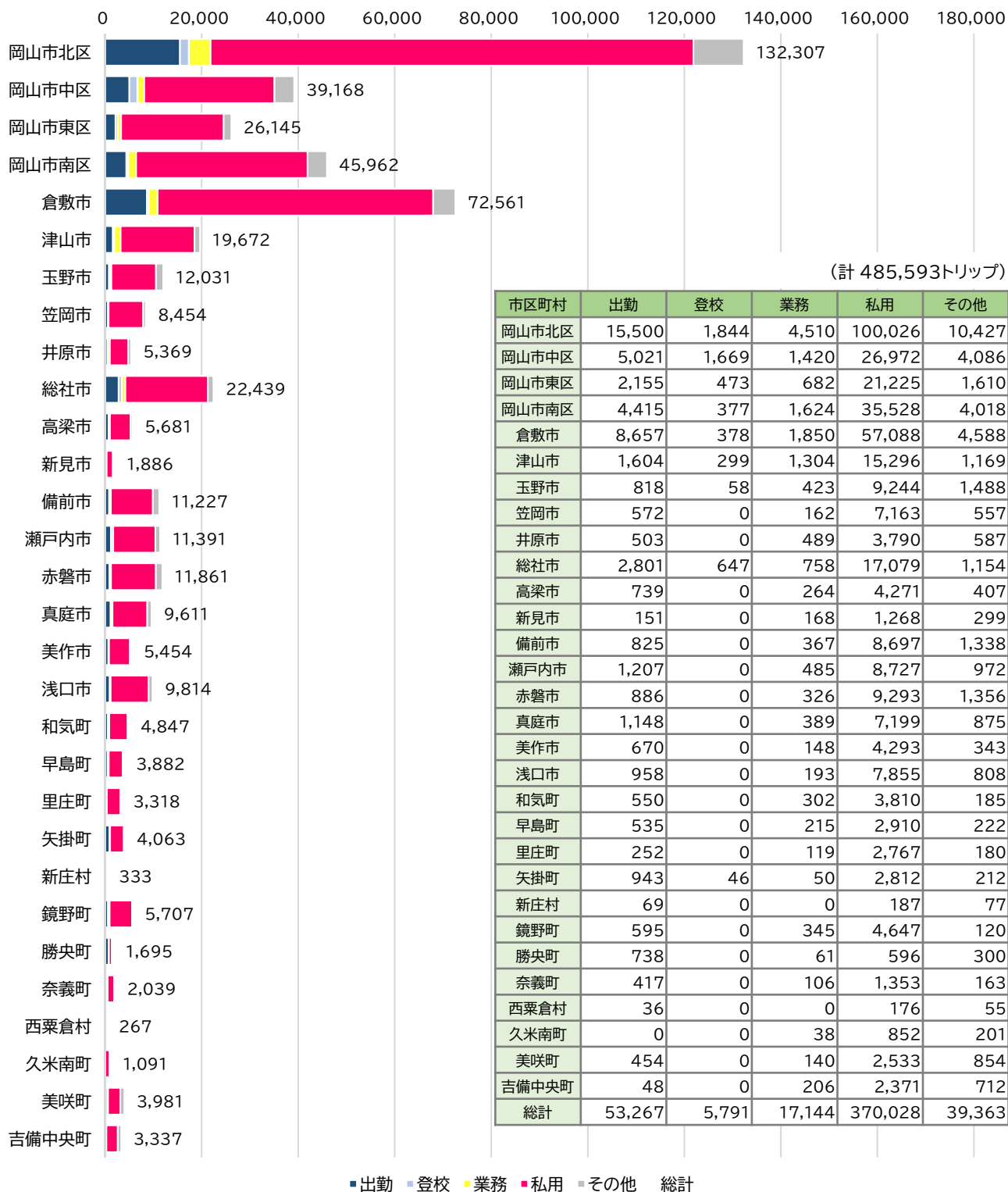


■ 休日に、市区町村域外へ出る目的の大半は、私用となっている。(出勤11.0%、登校1.2%、業務3.5%、私用76.2%)

■ 休日における、出勤目的での市区町村域外へのトリップ数は、平日に比べて0.2倍となっている。一方で、私用での域外へのトリップ数は、平日に比べて1.7倍となっている。

②域外から域内への移動(流入)

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。
 ※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。

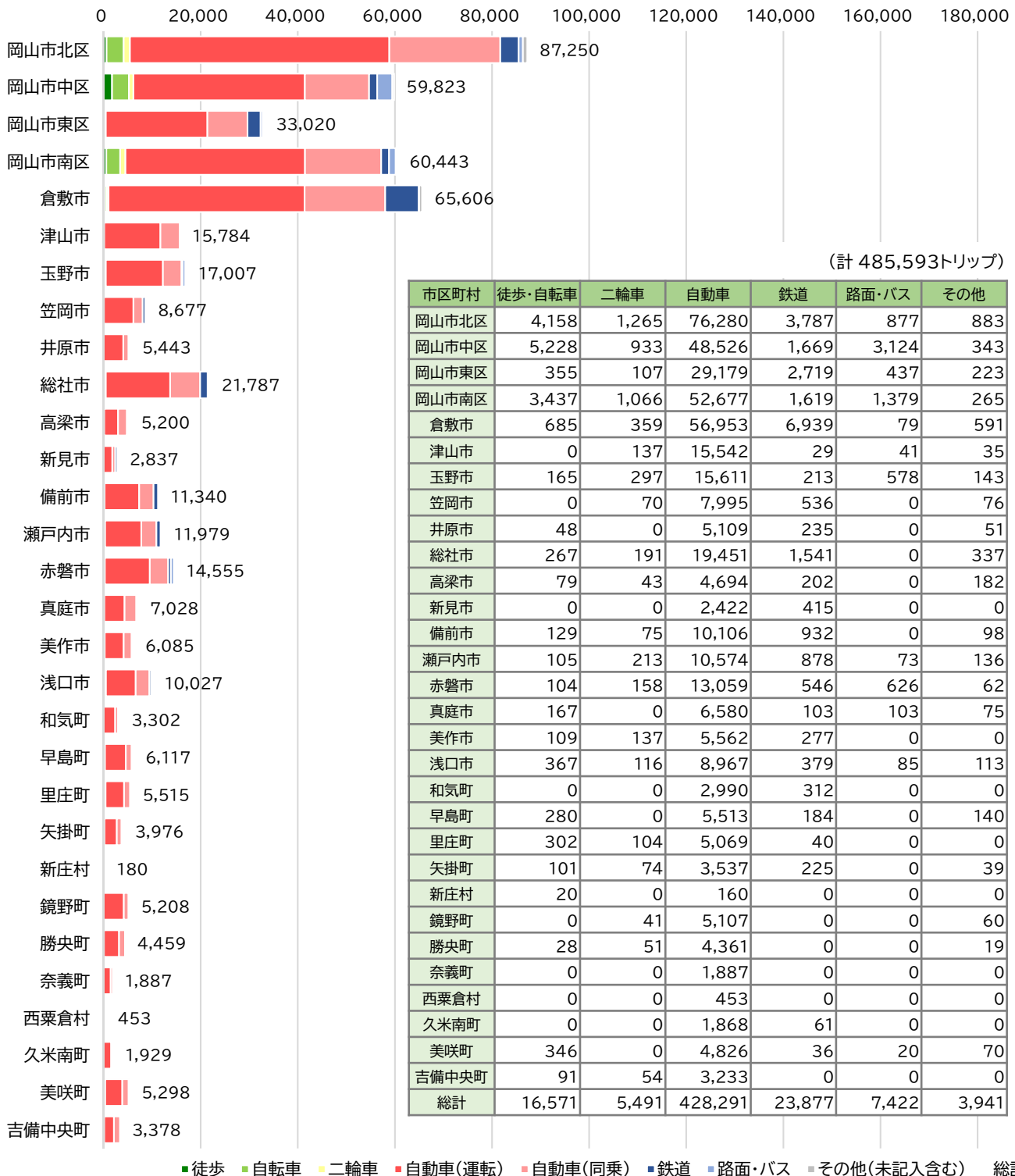


- 休日の、私用のための移動の目的地は、多い順に、岡山市北区27.0%、倉敷市15.4%、岡山市南区9.6%となっている。
- 平日と比べて、休日に私用目的での域外からのトリップ数が大幅に増加している市区町村は、岡山市北区(+43,979)、倉敷市(+28,377)、岡山市南区(+10,190)などである。

(2) 区域をまたぐ移動での代表交通手段

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。
 ※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。

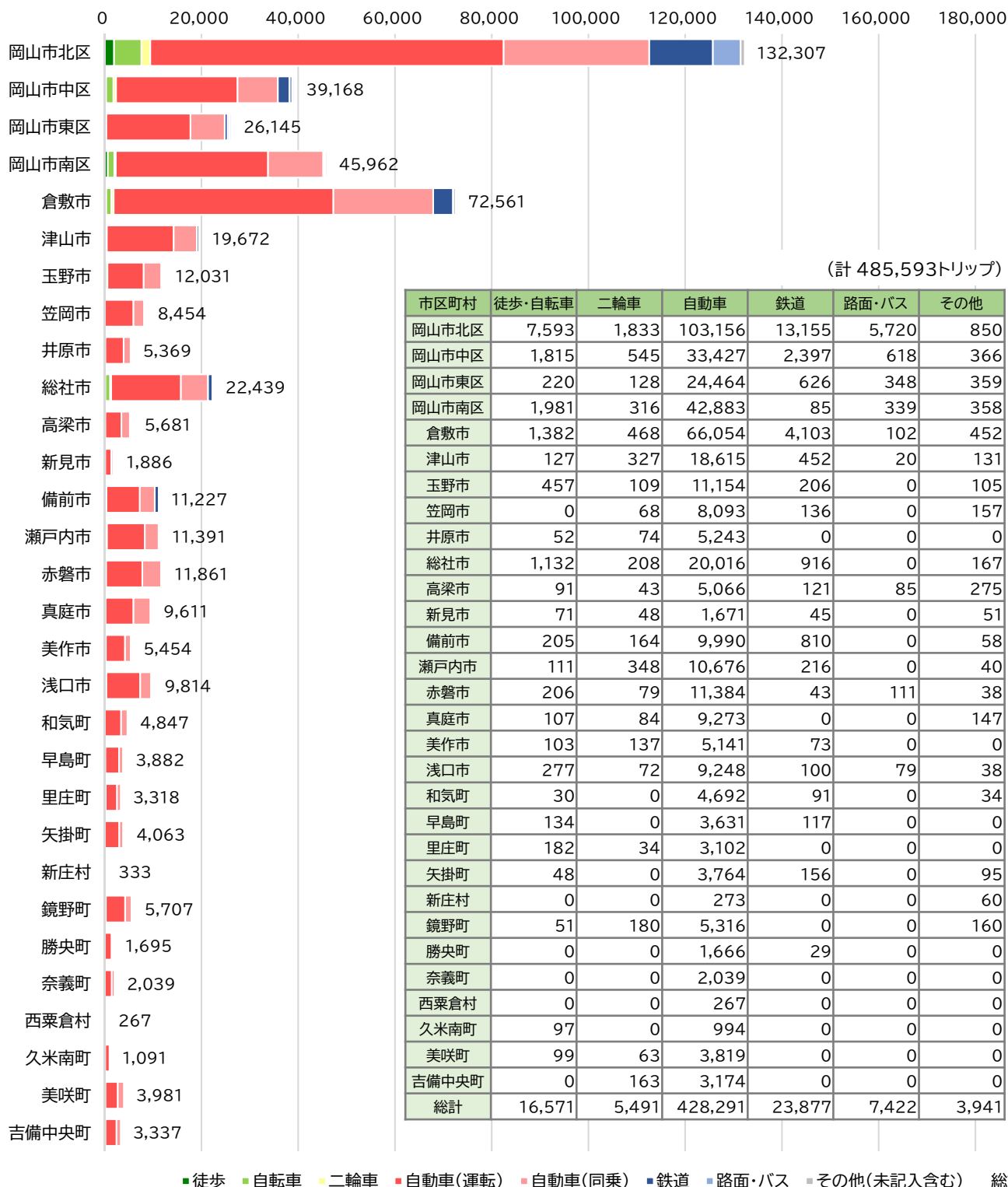
① 域内から域外への移動(流出)



- 休日は、平日に比べてトリップ数が減少している。(平日634,099→休日485,593、23.4%減)
- 休日は、平日に比べて全トリップに占める自動車の利用割合が増えている。(平日78.3%→休日88.2%)
- 休日は、平日に比べて鉄道の利用は66.3%減、路面電車・バスの利用は56.0%減と大幅に減少している。

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。
 ※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。

②域外から域内への移動(流入)

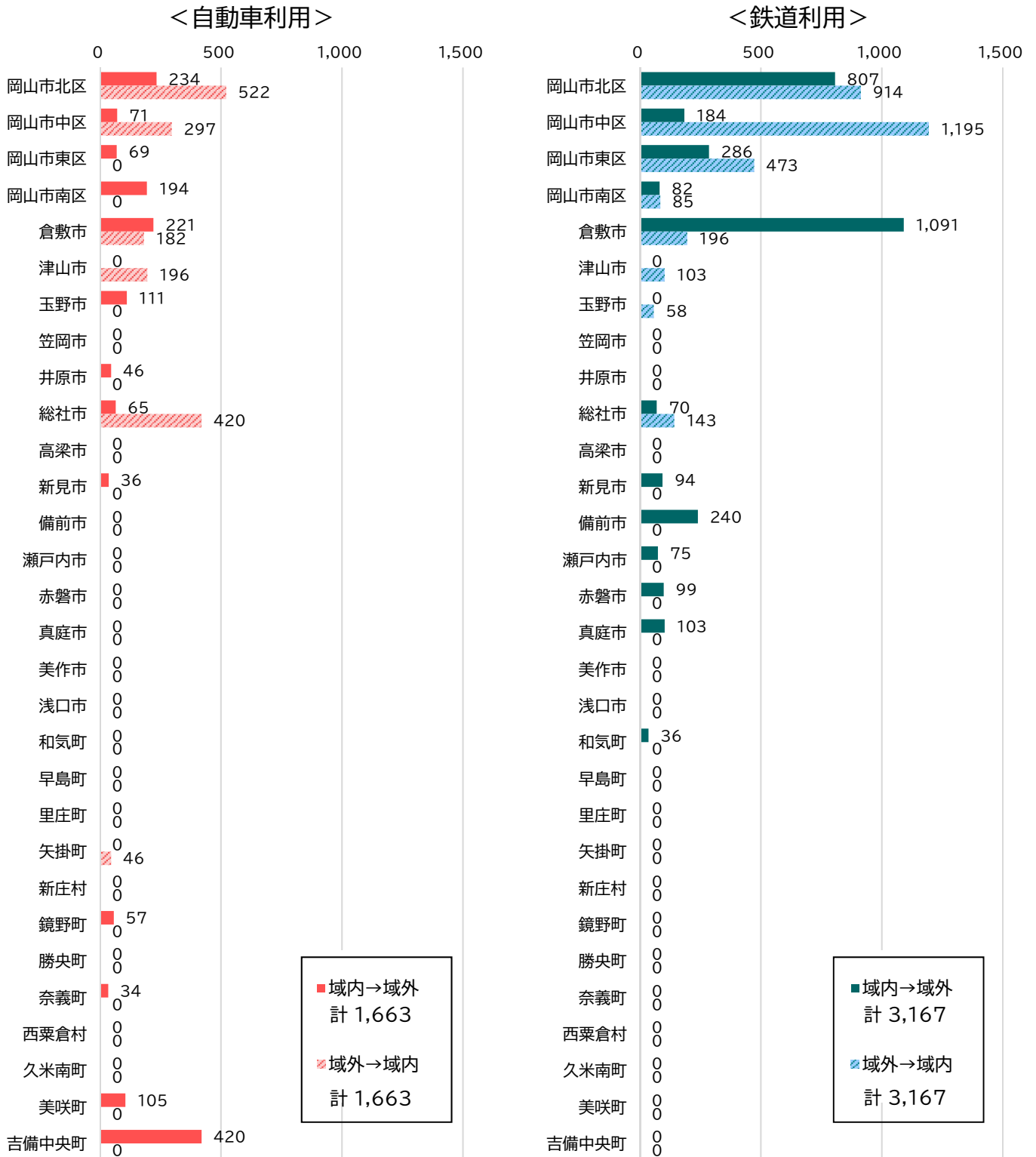


- 休日の、鉄道を代表交通手段とするトリップの目的地は、岡山市北区55.1%、倉敷市17.2%、岡山市中区10.0%となっており、平日と同様の傾向が見られる。
- 路面電車・バスを代表交通手段とするトリップの目的地は、岡山市北区が77.1%となっており、平日よりも高い割合となっている。

(3) 移動目的ごとの自動車利用と鉄道利用の差

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地別に集計を行った。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。
 ※ 移動目的が帰宅または不明であるものは除いた。

① 登校目的での移動

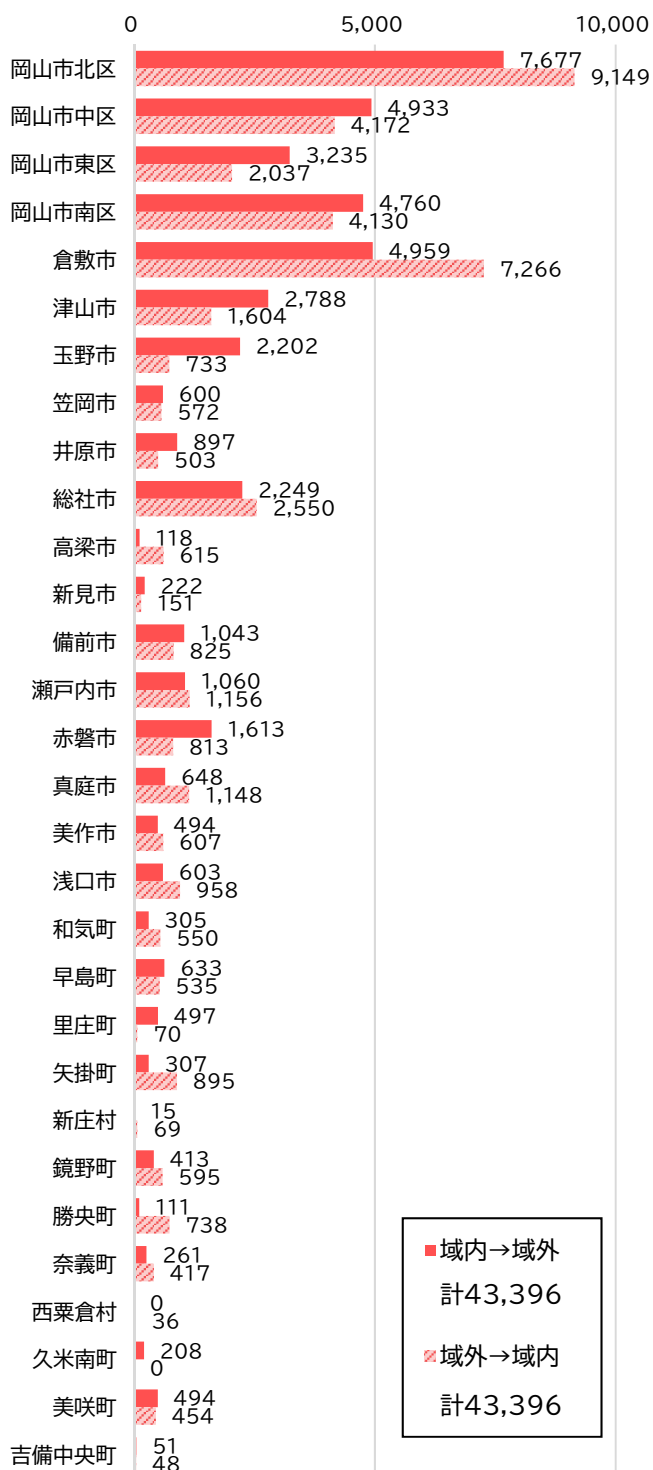


■ 休日は、自動車利用、鉄道利用のいずれにおいても、登校目的での移動が減少する。
 ■ 吉備中央町や美咲町などでは、平日と比べて、自動車による町外への移動が増加する。

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地及び目的地別で集計を行った。
 ※ 自動車利用には、他の人の運転する車両への同乗を含めた。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。

② 出勤目的での移動

<自動車利用>



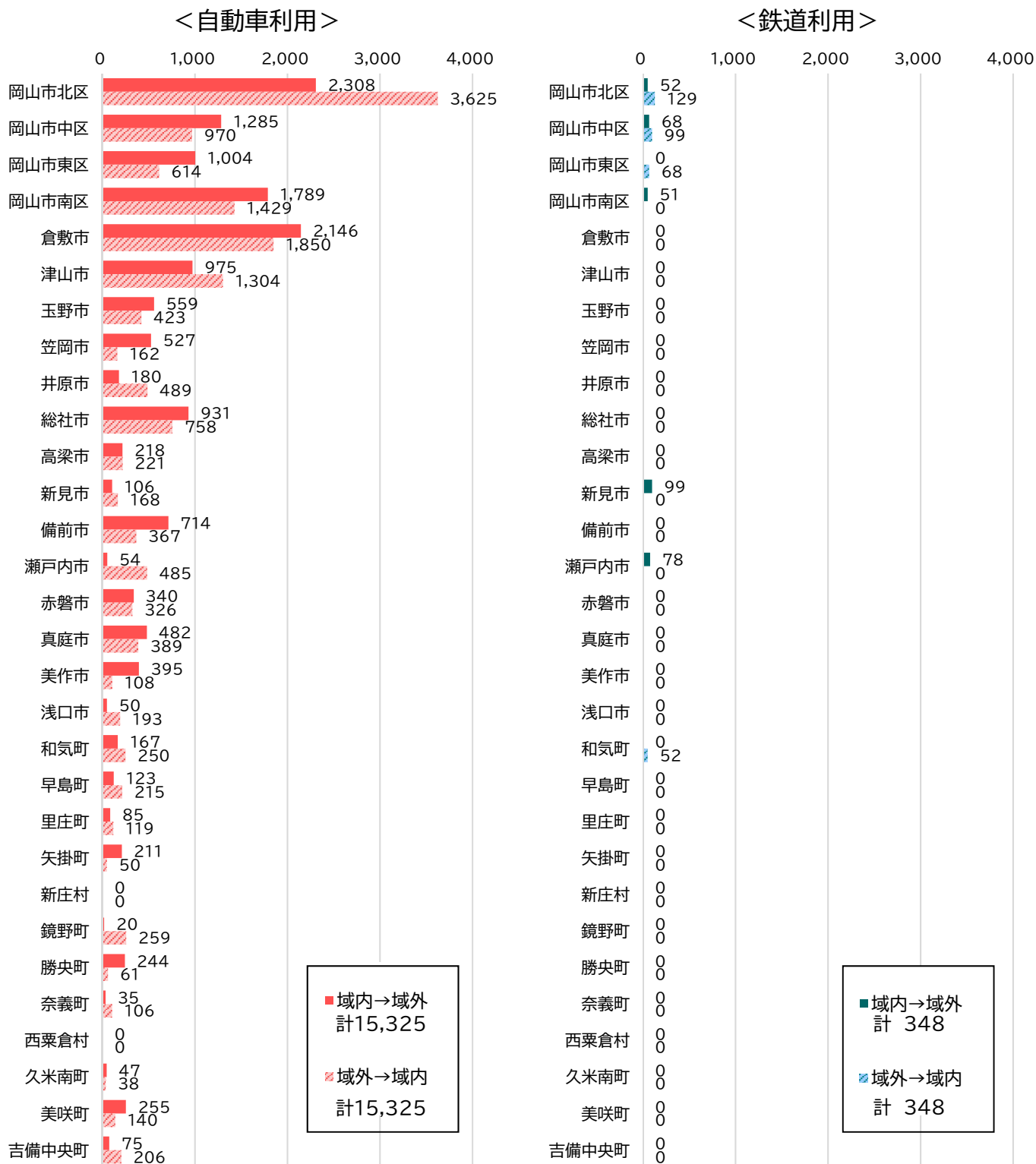
<鉄道利用>



■ 休日は、自動車利用、鉄道利用のいずれにおいても、出勤目的での移動が減少する。

※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地及び目的地別で集計を行った。
 ※ 自動車利用には、他の人の運転する車両への同乗を含めた。
 ※ 県域をまたぐトリップは除いた。

③ 業務目的での移動



■ 休日は、自動車利用、鉄道利用のいずれについても、業務目的での移動が減少する。

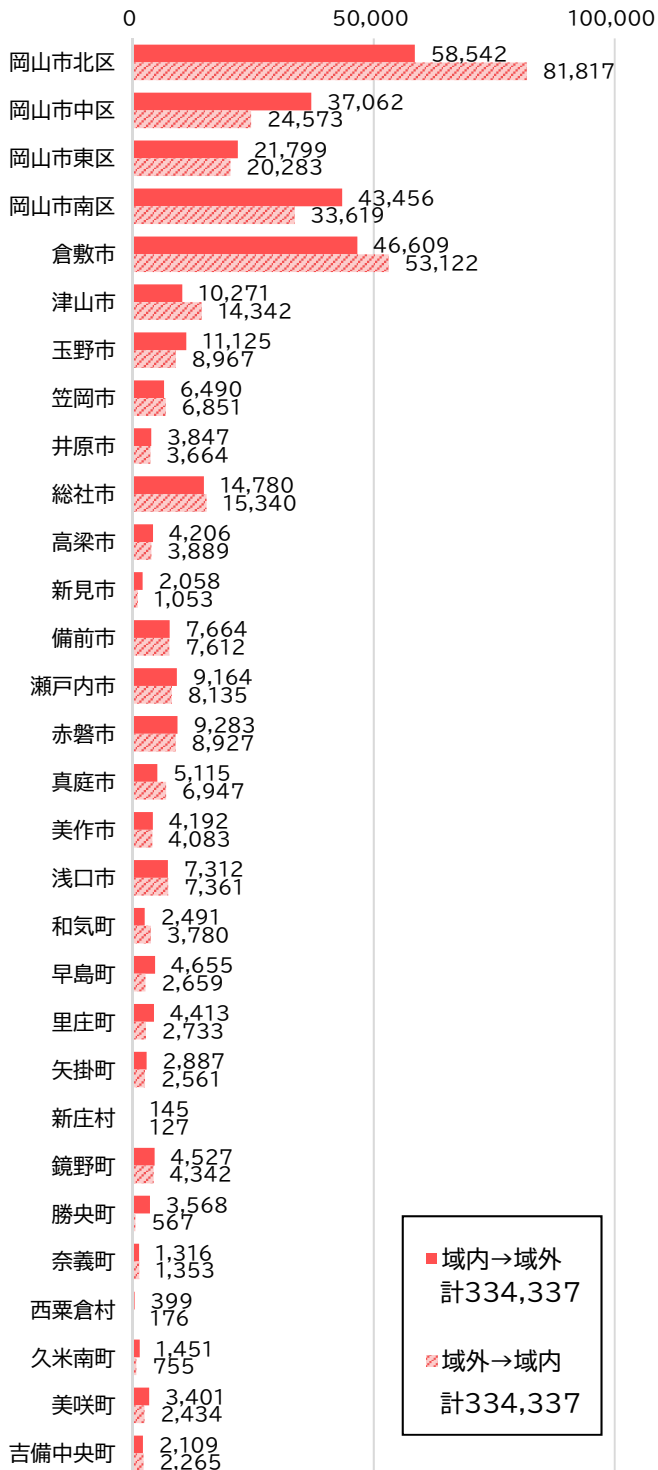
※ 回答者の居住市区町村に関わらず、トリップごとの出発地及び目的地別で集計を行った。

※ 自動車利用には、他の人の運転する車両への同乗を含めた。

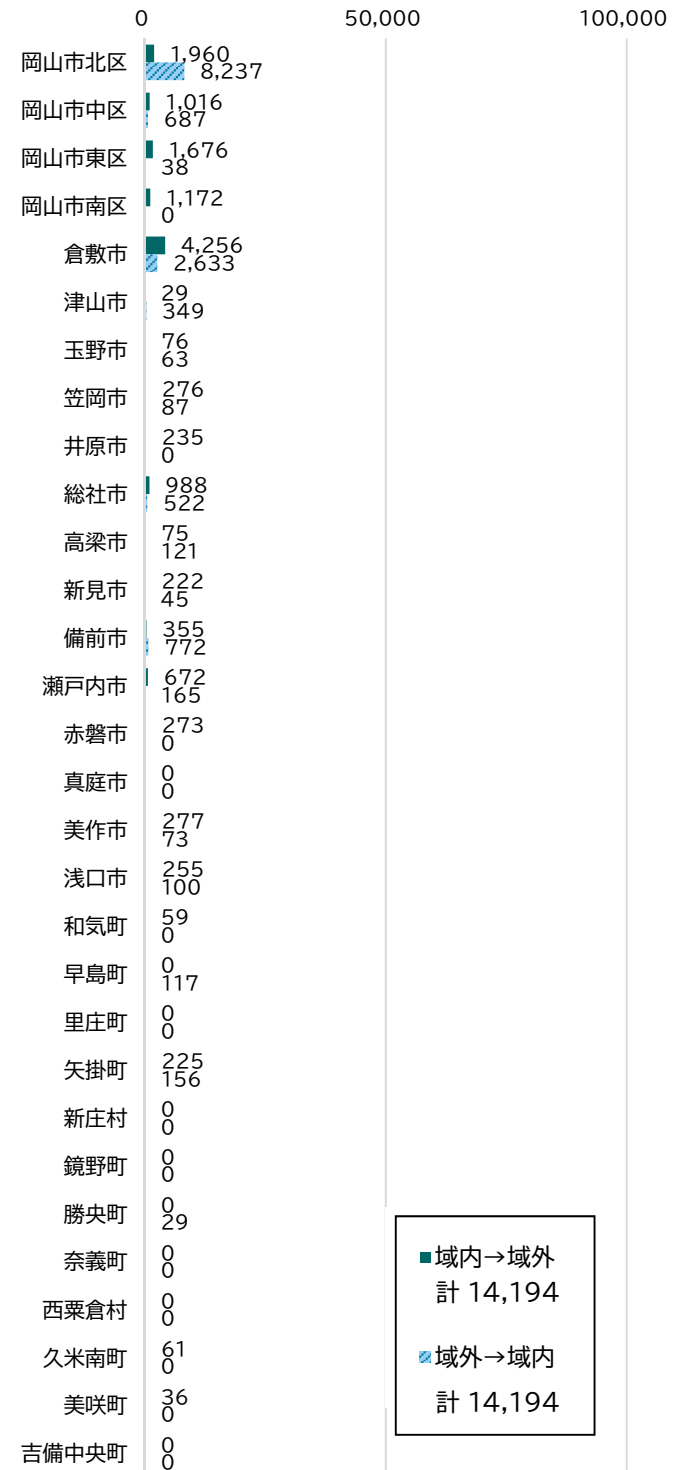
※ 県域をまたぐトリップは除いた。

④ 私用(買物、通院、私用、その他)での移動

<自動車利用>



<鉄道利用>



- 平日と比べて、自動車利用で1.8倍、鉄道利用で1.5倍に増加している。
- 自動車利用の場合、平日と同様、岡山市各区、倉敷市、津山市、総社市などを目的地とした移動が多くなっている。
- 鉄道利用の場合、岡山市北区へ入ってくる移動は、平日の1.5倍となっている。